

2020年9月24日

スカパーJSAT株式会社

### 技術試験衛星9号機に関する協定書の締結について

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一、以下スカパーJSAT）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（本社：東京都調布市、理事長：山川宏、以下JAXA）と、技術試験衛星9号機（ETS-9）に関する協定書を締結しましたので、お知らせいたします。



ETS-9は、通信コストを削減するための最先端技術を各種搭載し、その実証に向けて2022年にJAXAが静止軌道に打ち上げを予定している技術試験衛星です<sup>※</sup>。スカパーJSATは、2019年7月に、JAXAが公示した「技術試験衛星9号機バスの定常運用及び相乗りペイロードの追加搭載等」について契約先として選定されており、この度、ETS-9の実証後期間の定常運用業務（範囲：地上システム及び衛星バスの運用・維持管理）の委託及び相乗りペイロードによる衛星バスの利用に関してJAXAと協定書を締結いたしました。

スカパーJSATは、これまでもJAXA保有「超高速インターネット衛星」(WINDS)の運用(2012年6月～2019年3月)、「データ中継システム及び光データ中継システム」(JDRS)の衛星バス運用(2017年6月～)を受託しており、これらを通じて、着実にJAXA衛星の運用経験を積んでまいりました。この度受託したETS-9の実証後期間の定常運用業務は、これまでの実績に加え、スカパーJSATが有する豊富な地上システムの構築ノウハウ、累積30機以上の静止衛星運用経験や技術が評価された結果と受け止めております。

また、相乗りペイロードとしてスカパーJSATが搭載する光学望遠鏡は、近年需要の高まっているスペースデブリ対策を目的としています。今後は日本政府との連携の下、静止軌道上のスペースデブリを撮像し、宇宙環境を把握することで、スペースデブリと人工衛星の衝突を回避し、宇宙の安全に寄与することを目指します。

今後もスカパーJSATは、宇宙・衛星事業の知見と創意を活用し、日本政府が掲げる宇

宙基本計画及び基本計画工程表の実現への協力、宇宙利用の拡大や宇宙産業の発展に尽力してまいります。

※1 JAXA ホームページより

ETS-9 : <http://www.satnavi.jaxa.jp/project/ETS-9/>

## ■ 会社概要

スカパー J S A T株式会社

代表者 : 代表取締役 執行役員社長 米倉 英一

設 立 : 1994年11月10日

資本金 : 50,083 百万円

本社所在地 : 東京都港区赤坂 1-8-1

事業内容 : 放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の 19 機の衛星を保有する、有料多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数約 300 万を誇る日本最大の衛星有料多チャンネルプラットフォーム「スカパー！」を通じて多種多様なエンターテイメントをお届けし、日本・アジア・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーする衛星通信サービスは「社会の安心・安全・便利」を支えています。

公式サイト : <https://www.skyperfectjsat.space/>

以上